

認知症の父親と統合失調症の息子の 二人暮らし世帯への支援を考える

●事例提出者

Aさん（居宅介護支援事業所・
介護福祉士）

A

●クライアント

Bさん・67歳・男性

B

◆提出理由

認知症の父親（Bさん）と統合失調症の息子（33歳）の二人暮らし世帯（Bさんの母親は精神疾患のために入院中）。キーパーソンが不在であることから、ケアマネジャーが生活問題全般（家の草刈り、税金の滞納、家電の破損、知人の介入など）にかかわらねばならず、業務範囲を超えた支援が求められている。

ケアマネジャーとしては、解決策が見つからないまま、どこまでサービス担当者で決定・処理をしていいのかわからず、またいつまでこの状態が続くのか精神的な負担を感じている。

どのように現状をとらえ対応していけばよいのか、アドバイスをいただければと思い、提出した。

◆事例の概要

現在、本人および精神疾患のある息子と一軒家にて二人暮らし。多くの問題を抱えていることから親戚等もかわりをもととしない状況。成年後見

制度や日常生活自立支援事業などの制度の活用を勧めるが、ご本人の拒否により申請に至らない状況である。本人は無為症状で一日中寝たり起きたりの生活を続けている。キーパーソンが不在であることから、生活のなかで決定しなければいけないことについては、ケアマネジャーが同居の息子さんと相談しながら話を進めている。

◆家族

母親は入院中。父親は10年ほど前に死亡。妻とは離婚している。同居の息子のほか、かつて内縁状態にあった女性との間に未認知の息子がいる。きょうだいは兄が一人いたが、死亡している。

◆診断名等

- 脳血管性認知症（平成18年）
- 心筋梗塞（バイパス手術済み）
- 要介護3
- 認知症老人の日常生活自立度 IIIa

◆現在利用しているサービス

- 訪問介護：月～土の午前中。清潔保持のための身体介護と調理・買い物のための家事援助、病院受診のための通院等乗降介助
- 訪問看護（医療）：週1回
- 医療機関（通院）：精神科（2週間ごと）、心臓外科（2カ月ごと）

◆保険・手帳等

- 厚生年金、身体障害3級、精神自立支援医療

◆本人・家族の希望

Bさん：「今やってもらっていることを続けてもらえたらいいですね。現在のサービスの継続利用を希望。」

息子：「ヘルパーさんに手伝ってもらっていることは今後も続けていってもらいたい。役所の手続きなども助言をもらいながらやっていきたい」

◆アセスメントの概要

健康状態：脳血管性認知症、心筋梗塞バイパス術後、失認・失行など高次脳機能障害が持続。

歩行：自力にて歩行可能だが、食事や排泄以外は臥床されていることが多く、歩行時はふらつくことがある。他の動作はゆっくりで自立している。

更衣：声かけをしないと着替えようとしない。また準備してもボタン掛けができなかったり、視力低下のために服を裏返しに着たりするので、声かけや手直しが必要。

洗身：週2～3回、ヘルパーの援助のもと入浴している。浴槽に入るなどの入浴動作は問題ないが、声かけがないと手が止まったり、順番がわからなくなったりする。

IADL：更衣は自ら行うことはないが、ヘルパーや家族の声かけと物品の準備があれば可能。薬の管理も困難であり、訪問看護師の訪問時（週1回）に服薬カレンダーへのセッティングを行う。日々の服薬はヘルパーが訪問した際に昼薬と夕薬をテーブルの上にセッティングし、声かけを行っている。

認知：質問に対して答えることはできるが、起床や就寝時間などはわかっておらず、できることも「できない」といったり、お酒を飲まないのに「昨日酔っぱらって転んだ」と言ったりするなど不明瞭なことが多い。

コミュニケーション能力：日常生活上の簡単なコミュニケーションは可能だが、必要以上に話されることはない。

社会とのかかわり：ほとんど自室で臥床している

ことが多く、外出も病院受診のみである。

排尿・排便：排泄はトイレにて行っているが、便器の周囲を汚したり、ズボンを汚したりすることがある。

褥瘡・皮膚の問題：臥床傾向があるため背中に湿疹ができたり、足指に白癬があるので軟膏を塗布している。

口腔衛生：歯磨きやうがいを拒否され、虫歯や歯の抜けが多い。訪問歯科を打診するも拒否があり、導入には至っていない。

食事摂取：食事をセッティングすると、器を確認しながら自力にて摂取可能。

精神状態・問題行動：ズボンが尿で濡れていても「濡れていないから替えなくていい」と強く拒否されることがある。

介護力：息子との二人暮らしであり、主な協力者は息子となる。ほかに親戚の方が出入りすることもあるが、生活上の相談にはのってもらえない状況である。

居住環境：自宅は2階建て（Bさんの居室は1階、息子の居室は2階）。自宅の内外に段差がある。

特別な状況：息子がBさんと入院中の祖母の年金を管理している。親戚や知人がそのために出入りすることがある。

◆これまでの経緯

- サービスの調整や依頼などは同居の息子さんと確認しながらなんとかやっているが、半年ほど前に内縁の妻の息子が自宅に出入りし、財布からお金を盗むという出来事があった。

- その件は警察沙汰にもなり、Bさんと息子さんの安全確保のためにそれぞれに入所を調整したが拒否された。

- また、金銭管理について日常生活自立支援事業の利用を勧めるが、Bさんは拒否される。

- そうした状況をふまえ、行政に相談したところ、「本人が拒否している以上、制度の利用は難しい」との回答であった。

ケース検討会

ケースの全体像をつかむ

<見立て編>

野中 ありがとうございます。事例の概要をざっと説明していただきました。まだよく見えないところが少なくないと思いますので、質問によって情報を補強していきましょう。まずは事例の〈見立て〉に必要な情報を、聞き手の主観を交えずに聞いていってください。ある程度情報が集まった段階で、今後の〈手立て〉を考えていきましょう。では、質問をどうぞ。

生活歴について

発言 Bさんの生活歴を教えてください。

Aさん 詳しいところまでは把握していないのですが、現住所から車で2時間ほどの県内の別の町でお生まれになっています。高校卒業まではそちらで過ごされ、その後社会に出ておられます。お仕事は自動車教習所の先生をしていたとお聞きしています。

野中 高校卒業後すぐに自動車教習所の先生をする人はいないですよね。その前にどんな仕事をしていたかはわかりますか？

Aさん すみません、伺ったことはありません。

発言 いつ奥さんと離婚をされたのか、また離婚の経緯などはわかりますか？

Aさん 詳細はわかりませんが、Bさんは若い頃からお酒をよく飲んで家庭内でいろいろあったとは聞いています。

発言 離婚した奥さんとは今も連絡をとっているのでしょうか？

Aさん 連絡はとっていないようです。私も連絡先は把握していません。

発言 Bさんと息子さんは以前から二人で暮らしていたのですか？

Aさん いえ、お二人で暮らし始めたのはわりあい最近のことです。おそらく息子さんは以前はひとり暮らしをしていたのだと思います。その後、どのくらいの期間かはわからないのですが、息子さんは統合失調症でしばらく精神科病院に入院していました。そして、Bさんが心筋梗塞の手術を終えて退院した4カ月後に、精神科病院から退院してきて二人暮らしになったということです。ですので、二人で暮らすようになってからは、まだ1年半ほどです。

発言 AさんはBさんが退院した当初から担当しているのですか？

Aさん いいえ、退院後1年間は前任のケアマネが担当していました。前任者の退職にともなって私が引き継いだのが半年ほど前です。

発言 Bさんのお母さんはいつ頃から、何の病気で入院されているのですか？

Aさん 現在はアルツハイマー型認知症で精神科病院の認知症病棟に入院されています。いつ頃入院されたのかは伺っていません。

病状、能力について

発言 Bさんは定期的に精神科や心臓外科に通院していますが、これはご自身の意思で行かれているのですか？

Aさん はい。通院にはヘルパーが同行していますが、病院受診は重要だと思っているようです。

発言 精神科受診は何のためですか？

Aさん 不眠の改善と気分を落ち着かせる薬をもらっているということです。

野中 薬の中身はわかりますか？

Aさん マイスロー[®]10mgとセロクエル[®]50mgです。

野中 セロクエル[®]が入っている理由は聞いていますか？

Aさん そこまでは伺っていません。

野中 セロクエル®というのは抗精神病薬です。脳血管性認知症で心筋梗塞の人になぜ抗精神病薬が処方されているのか、ケアマネジャーとしては聞かなければいけません。「家で暴れてしまっしょうがないので処方されている」といった理由がなければ、おかしい処方です。もしかすると、無為状態とかふらつき、失禁というのも薬物のせいかもしれません。今後いつ、どのように抜いていくつもりなのかという点も確認をしたほうがいいでしょう。

Aさん わかりました。

発言 服薬管理はどのようにしているのですか？

Aさん 薬は昼と夜に2回飲むのですが、昼はサービスに入ったヘルパーに飲むところを確認してもらっています。夜の分はヘルパーに薬と水をセッティングしてもらい、翌日訪問したヘルパーが飲んだかどうかを確認します。

発言 Bさんは判断能力はどのくらいあるのですか？

Aさん 判断能力はそれなりにあると思います。嫌なことには嫌だという意思表示ができますし、その理由についても、こちらがいくつか候補を挙げればうなずいて選ぶことができます。

野中 先ほどの説明では、ズボンに尿がついていても「濡れていない」と着替えを拒否することがあるということでしたが、その事実を聞く限りでは判断能力が落ちていると考えるのが自然なのではないですか。長谷川式の点数などのデータはありますか？

Aさん いえ、ありません。

野中 そういう根拠をもっていないと、何にもとづいて「それなりにある」と判断したのだと問われたときにへどもどしてしまいますよ。

Aさん たしかに——。わかりました。

発言 Bさんや息子さんは、趣味など生活のなかで何か楽しんでいることはありますか？

Aさん Bさんの趣味はお聞きしたことはありません。息子さんはカードゲームをよくやっている

ようです。

野中 どんなゲームかわかりますか？

Aさん 詳しくは聞いたことがありません。

野中 どんなレベルのゲームをしているのかわかれば、息子さんの作業能力や知的なレベルを推し量ることができますよね。

Aさん なるほど。そういう観点はありませんでした。

野中 Bさんの楽しみも今後の支援のためにはぜひ押さえておきたい点ですね。

Aさん わかりました。

経済状況について

発言 ご自宅は持ち家ですか？

Aさん そうです。

野中 土地はどのくらいの広さですか？

Aさん 50坪ほどでしょうか。この地域では標準的な広さだと思います。

発言 このご家庭の経済状態を教えてください。

Aさん Bさんの年金と入院中のお母さんの年金を合わせて2カ月で30万円ほどになります。

発言 お金の管理は誰がしているのですか？

Aさん 息子さんがしています。

発言 その息子さんの障害年金が入っていなかったような気がしたのですが。

Aさん 息子さんは年金をもらっていないと聞いています。

野中 どうしてですか？

Aさん 詳しくはわからないのですが……。

野中 この息子さんの障害レベルでは、ほぼ間違いなく障害年金を受けることができるでしょう。しかし、息子さん自身がその情報を入手して手続きを取るというのは難しい。やはり援助者が教えてあげなければいけない。もし本当に障害年金が検討されていないのだとしたら、息子さんの支援チームの怠慢ですが、それをケアマネジャーは見

過ごしていいわけではありません。チーム同士がお互いの仕事をチェックし合うのも協働のあり方のひとつです。

Aさん わかりました。

食事について

発言 ご本人の1日の生活を教えてください。

Aさん 起床時間は特に決まっていないようで、寝たり起きたりの生活をしているとお聞きしています。朝食は息子さんがパンを準備しています。

野中 ほう、毎日パン食ですか？

Aさん 日曜日はヘルパーさんが入っていないので、レトルト食品を温めて食べているようです。

野中 息子さんはどんなパンを準備しているのですか？ クロワッサンとカフェオレを出しているのか、食パンをトースターで焼いてバターとジャムも用意しているのか。

Aさん 袋入りの菓子パンです。

野中 飲み物は？ 牛乳は付けていますか？

Aさん 牛乳は見たことがありません。

野中 袋入りの菓子パンで牛乳もないとなると、食事のクオリティとしてはグッと下がりますね。同じ「朝食はパン」といっても、質の面ではかなりの幅がありますから、具体的にどんな内容なのかをしっかりと押さえることが大事です。ところで、日曜日に食べているレトルト食品はどうやって入手しているのですか？

Aさん 息子さんの希望を聞いて、ヘルパーさんが買ってきています。

野中 息子さんは自分では買いに行けないのですか？

Aさん 息子さんは週2回デイケアに通っているのですが、そこで買い物の活動があり、自分で必要なものを購入できるようトレーニングを受けていらっやいます。

野中 なるほど、いまは過渡的な段階ということですね。

周囲のかかわりについて

発言 事例紹介では、Bさんの未認知の息子さんが自宅に出入りして財布から金を盗んだということですが、この件は解決したのですか？

Aさん お金を盗んだ件に関しては警察に捕まったのですが、民事不介入というのでしょうか、すぐに釈放されています。

野中 その後は？

Aさん その後も2～3回同じようにお金をせびりに来たようですが、盗っていかれはしなかったようです。

野中 その未認知の息子とは昔から付き合いがあるのですか？

Aさん 同居している息子さんは「幼なじみ」と言っていました。

野中 未認知の息子の年齢は？

Aさん 同居している息子さんとほとんど同年代だと思います。

野中 その男について、Bさんはどう言っているのですか？

Aさん 息子さんには「気にするな」とおっしゃっているようです。

野中 最近も現れているのですか？

Aさん ここ2～3カ月は来ていないようです。

発言 ご親族の方でどなたかかかわっている方はいらっやらないのですか？

Aさん 母方のお姉さん、Bさんからすると伯母さんにあたる方が時々来ておられます。

野中 どんなことをしているのですか？

Aさん この方の関心事はBさんの自宅の仏壇にあるようです。それと、Bさんと息子さんの了解を得ないまま庭の草刈りなどを頼んで、業者には「お金は本人たちからもらってね」といったことを何回かしたことがあるそうです。

野中 よくわかりませんね。まず、伯母が甥であるBさんの家の仏壇を大事にしているということ

は、ということなのでしょう。伯母にとってBさんの家が本家なのですか？

Aさん そういことだと思ひます。

野中 妹の家がなぜ本家なのでしょう。なにかいきさつがあると思うのですが、聞いていますか？

Aさん いいえ、そのあたりは伺ったことはありません。

野中 たとえば、伯母のほうには男がいないので、妹の息子であるBさんに本家を継がせた、といった事情があるはずだす。そして、本家だから庭もきれいに保とうと業者に草刈りを頼む、でも費用は本家のほうで負担してくださいね、ということなのかもしれません。いずれにしても、このあたりの事情は解明しておいたほうがいいですね。

Aさん わかりました。

発言 他の親戚のかかわりはいかがですか？

Aさん 前任のケアマネジャーからの引き継ぎのときに、協力者ということで2〜3名の方の名前をいただいています。

野中 その方たちとBさんや息子との関係はわかりますか？

Aさん いえ、これまで連絡をとったことはなく、書類にも「親戚筋」としか書かれていません。

野中 「親戚筋」では使える情報とはいえません。Bさん家族の生活歴のどの場面で、どんなふうにその人たちががらんでいたのかといったことがわからないと、関係性は見えてきませんよね。そこまで見えて初めて、その人がどのくらい使える資源なのかがわかってくるのです。「親戚」というなら、家系をさかのぼっていけば、あなたと私だって親戚かもしれませんよ（笑）。

Aさん たしかに（苦笑）。

具体的な対応策を考える

<手立て編>

野中 まだ十分に見えてこない点もありますが、

時間の問題もありますので、ここまでで明らかになった情報をもとにプランニングをしていきましょう。心筋梗塞の既往をもつ脳血管性認知症の父親と統合失調症の息子の二人暮らし世帯。月曜から土曜まではヘルパーが訪問し、息子は週2回デイケアに通っています。それ以外はほとんど家の中で親子二人の時間を過ごしているようです。こういう事例に対して、今後どのような支援をしていくことが考えられるのでしょうか。プランニングの際には、総論ではなく、できるだけ具体的なアイデアを出してください。どんな角度からの発言でもけっこうです。

発言 先ほどご本人の趣味や楽しみについて伺ったことがないということでしたが、Bさんはまだ67歳とお若いですし、これからどんな生活をしていきたいと思っておられるのか、ご希望を聞いてみたいと思いました。

発言 私は将来のことと同時に、これまでのことについてもお聞きしたいと思いました。過去の生活歴をうかがうなかで、ご本人の好みや地域のなかで果たしてきた役割などが見えてくることもあると思うので、それらを踏まえればご本人らしい生活を送っていただけるような支援を考えていけるのではないかと思います。

野中 どちらも大事な視点ですね。たとえば、高校のときはどんなクラブ活動をしていたのか、これまでどんな仕事に就いてきたのか、結婚や離婚の経緯、アルコール症の歴史、地域のコミュニティのなかで果たしてきた役割、また将来はどこかの墓に入るつもりなのか、生きている間の心配事は何かといったことも聴けるといいですね。時間をかけて、聴けるところからでいいと思います。

Aさん 大変参考になります。

発言 私は医療的な情報について押さえておきたいと思いました。

野中 具体的には？

発言 まずはご本人が身体的にどのような状態な

のか。それと、先ほど出ていた抗精神病薬についての確認、さらに現在の歩行の状態でリハビリがどのくらい有効なのかもチェックしたいです。

野中 ドクターやリハビリ職から情報を収集しようということですね。

発言 私は医療情報とともに、生活面に関する情報、特に排尿、食事、睡眠について再確認しておきたいと思いました。歩行はふらつきがあるということですので、住宅改修で手すりを付けられるかどうかという点をチェックしてもよいと思います。また、自宅の中に段差があるようなので、住宅改修の可能性も検討したいと思いました。

発言 しかるべき時点でケア会議を開いてはいかがでしょう。

野中 メンバーは誰を呼びますか？

発言 理想的には、医療面の情報を把握しているドクターと外来の様子をよく知っている通院先の看護師、現在かかわっているヘルパー、訪問看護師、先ほど話に出たりハビリ職、それと社協にも入っていただければいかがでしょう。

野中 そこでの社協の役割は？

発言 成年後見制度や日常生活自立支援事業についての専門家という位置づけです。現在、金銭管理は息子さんがしているということですが、今後そのままでよいのかどうか。少なくとも要検討事項ではあると思います。場合によっては、ケア会議の場でそういった制度の説明をしていただいてもよいのではないかと思います。

野中 餅は餅屋にまかせようということですね。金銭管理については、Aさんは一度トライして拒否されていますが、その道のプロにきちっと説明をしてもらえば通じることもあります。「プロが説明する場を設ける」のもケアマネジャーの重要な役割です。

Aさん わかりました。

発言 ケアマネジャーにとってはBさんが援助対象になりますが、同居の息子さんに対してどんな

支援が入っているのかが気になりました。

野中 そうですね。障害年金も受給していないようですからね。息子さんの支援チームはどうなっているのか、息子さんが通っているデイケアの職員や行政の保健師に問い合わせるところから始めてもいいでしょうね。そして、Bさんと息子両方の支援を一緒に検討する合同ケア会議を開けば、より効果的なプランニングができるでしょう。

発言 ちょっと突飛な考えかもしれませんが、息子さんはある程度の力をお持ちのようですし、お二人の関係も悪くはないようですので、息子さんをお父さんの介護者として育てていく、というのはいかがでしょう。

野中 なるほど。悪くないアイデアだと思いますよ。過去の二人の関係性はよく見えないところがありますが、1年半もの間、男二人で家の中でじっとしていても大きな問題は起きていませんから、少なくとも険悪な関係ではないようです。息子が介護者として支援をしてくれれば、Bさんにとっても幸せでしょうし、息子自身にとってもリカバリーのチャンスになります。一挙両得のプランになるかもしれません。

発言 私がずっと気になっているのは、伯母さんの存在です。お二人の生活を支える社会資源として重要な存在になりうると同時に、ご本人と別れた奥さん——伯母さんからすれば妹さん——との結婚・離婚の経緯やこのご家族のこれまでの生活歴についてなど、多くの情報を伺うことができるのではないのでしょうか。

野中 その通りですね。お金を盗っていったという内縁の妻との間の子どもについても知っているかもしれませんし、じっくりと情報交換をしたいですね。いずれにしても、この伯母さんはこのケースではかなり重要な人物です。伯母さんに話を聞くことはできますか？

Aさん はい。連絡先もわかっていますし、面識もありますので伺えると思います。

野中 さて、皆さんに出していただいた内容を整理すると十文字表のようになるでしょうか。どうですか、Aさん？

Aさん ありがとうございます。今日の事例検討のなかで痛感したのは、自分がこれまでいかに表面的な情報だけで動いていたかということです。皆さんにいろいろな意見を出していただいたおかげで、これからしなければいけないことも具体的に見えてきました。まずは、ご本人ともう一度向き合うところから始めたいと思います。

野中 このまま終わるとこのプランが本当に実行に移されるのかどうかわかりませんので、具体的に詰めていきましょう（笑）。まず最初に何をして、ケア会議をいつ頃設定しますか？

Aさん そうですね、まず今週中に病院に連絡をとって医療面の情報を確認したいと思います。きちんとしたケア会議を行うためには、事前に身体面や生活面の再アセスメント、社協への連絡、息子さんの支援チームの確認なども必要だと思いますので、ケア会議は1カ月後をメドに開きたいと思います。

野中 だいぶ頭の中が整理されたようですね。まずはきちんと情報を集めてケア会議をしっかりと行うことです。それができるかどうかでこのケースの将来が大きく変わってきますよ。

Aさん はい、しっかりとかわっていきます。今日はありがとうございました。

